

かわら版



- 鼓動 コロナ禍の国際交流 1
石川県海外青年交流協議会 理事 村池 敬一
- 第47回太陽と緑に親しむ健民祭・健民運動カレンダー 2
- 令和2年度少年の主張石川県大会 11
- 健民運動活動紹介（美しい石川を歩く） 16
- 薫風 ひとひらの折り紙から 17
石川県創作紙工芸研究会 顧問 竹山 雅万
- 「あいむ」だより 18

毎月7日は「健康の日」です。

～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～

鼓動

石川県海外青年交流協議会

理事 村池 敬一

コロナ禍の国際交流

ちょうど一年前、中国武漢に端を発した新型コロナウイルスは一年後の現在、ほぼ全世界を席卷し世界中合わせて死者数は100万人に迫ろうかとしています。社会のあらゆる分野でその影響は大きく影を落とし、被害は計り知れません。私達海青協事業の柱でもある国際交流事業も、進退窮まったというのが正直なところ。国際交流事業というのは「人が集って」初めて成立するものです。そしてそこに様々な触れ合いがあってこそ成り立ちます。ところが新型コロナウイルスにおける対策の一番は三密の厳禁です。「人との接触は避ける」「距離を保て」「集団は避ける」「自粛しろ」と言います。正直言ってお手上げです。昨年度末、いつもの締めくくり事業として開催予定だった「海青協祭」(国際文化交流の集い)を理事の全員一致により2月の段階で中止としました。ところが代案事業の「日中友好書道コンクール」も予定会場が次々閉鎖され、時間が足りないこともあり、事業化は断念せざるを得ませんでした。



多文化共生フォーラムでのパネル展示

状況の悪化の中、令和2年度の全ての事業休止と、石川県への補助申請取り下げ、また会費徴収の取り止めが理事会に諮られ、書面総会で承認を得ました。今年度も上半期が終わろうとしています。コロナの収束は見えてきません。日本人の渡航、外国人の入国制限の中、国内の観光地も大学のキャンパスも外国人の姿はまばらです。



JAICA ベトナム研修生の受け入れ式典

つくづく思うことがあります。国際交流も含めて全てのボランティア活動は世界(社会)の安定と安全があってこそ成り立つものです。

今まで当たり前のようにやってきたからと、無理を押しやるべきものではないと思います。今は静かに国際交流の今後の在り方や、ボランティアそのものの意味をじっくり考える時期かもしれません。そう思うこの頃です。

◇第47回太陽と緑に親しむ健民祭

今年度の健民祭はコロナ禍にあつて、9月21日（月・祝）の石川県走ろう会連絡協議会が主管する「健民トリムマラソン」を皮切りに、第47回太陽と緑に親しむ健民祭がスタートしました。例年であれば13種目に14団体が参加して開催されてきた健民祭ですが、今年度は7種目に8団体が参加して10月18日（日）まで金沢市と津幡町で開催されました。

○健民祭開会式及び健民グラウンド・ゴルフ大会始球式

9月22日（火・祝）には谷本正憲本部長出席のもと、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に万全を期して規模も縮小し、健民グラウンド・ゴルフ大会の参加者280人が参加して健民祭開会式及び始球式を開催しました。

開会式では、関戸正彦健民祭実行委員長の開会宣言のあと、谷本正憲本部長が挨拶されました。開会式終了後、谷本本部長と関戸実行委員長、県グラウンド・ゴルフ協会の川畑正勝会長により始球式が行われました。



【開会式の様子】



【始球式参加者との記念写真】



【大会の様子】

【大会結果】

- | | | | | | | |
|----------|----|------|--------|----|-------|-------|
| ○ 赤コース優勝 | 男子 | 東 進 | （金沢市） | 女子 | 盛田 妙子 | （珠洲市） |
| ○ 黄コース優勝 | 男子 | 酒井 修 | （かほく市） | 女子 | 竹内 久恵 | （小松市） |

○健民トリムマラソン大会

9月21日（月・祝）、県走ろう会連絡協議会が主管する健民トリムマラソン大会は78人が参加して開催されました。トリムマラソンとは、参加者が事前に自分の完走予想タイムを申告してから一定距離を走るといふものです。今年のコースは、西部緑地公園陸上競技場と補助競技場をつなぐ1周1.5kmのコースを10周するものでした。参加者の中には、スタートからフィニッシュまで一定の歩幅でメトロノームのように足を運び、申告タイムと実走タイムとの差がわずか30秒以内という方がいれば、他方、他の参加者のペースに釣られて申告タイムよりも好タイム(?)でフィニッシュしてしまう方がいるなど、一般的なタイムレースとはひと味違ったランニングを参加者は満喫していました。

今年はコロナ禍での感染防止対策を徹底するため、自宅での検温と走行中以外のマスク着用はもとより、会場入口にはサーモグラフィを設置し、受付には飛沫防止用のシールドを置くなどの感染防止対策を取りました。また、全ての各種目別大会で人数制限と事前申し込みで参加者を募集しました。

野村会長によれば、今年はいくつ防止だけでなく、お互いの間接的な接触もできるだけ回避するために給水方法を変えたそうです。参加者は、自分のペットボトルや水筒などを所定の机の上に用意しておき、給水時には立ち止まって給水し、大会終了後には各自が撤収するようにしたそうです。これまでの「至れり尽くせり」の大会運営から「至らない、尽くさない」大会運営への転換が主催者側にも参加者側にもより効果的な感染防止対策に繋がるのではないかとのことでした。



【陸上競技場入口にあるマスク着用と検温の立て看板】



【走ろう会受付のサーモグラフィと飛沫防止用シールド】



【開会式の様子】



【スタート直後の様子】



【ランニングを楽しむ参加者】



【トリムマラソンでは立ち止まった給水でも大丈夫？】

○健民マレットゴルフ大会

9月22日（火・祝）、広大な専光寺の松林の中に造成されたふれあいゴルフ広場において、74人が参加して開催されました。参加者は松林の心地よい木漏れ日を受けながらプレイを満喫しました。男子の部では、上位2名が同スコアとなりプレイオフが行われました。各ホールは自然の地形を生かしたコースが設定されており、参加者は思うように転がらないボールと対話するようにマレットゴルフを楽しんでいました。



【受付では非接触型体温計で検温】



【開会式の様子】



【難関？18番ホールでの様子】



【表彰式の様子】

【大会結果】

○ 男子の部

優勝 黒川 正司（かほく市）
 二位 島津 豊（金沢市）
 三位 市村 悟（金沢市）

○ 女子の部

優勝 中村 真由美（金沢市）
 二位 吉本 英美子（金沢市）
 三位 上本 千栄子（白山市）

○健民野球大会

10月4日（日）、県立野球場で石川県早朝野球選手権大会と金沢日曜野球連盟選手権大会の準決勝が行われました。県立野球場の感染防止対策は徹底しており、受付での検温はもとより、ゲーム終了後には使用したベンチ、及びドアノブ等の消毒は使用したチームが行っていました。コロナ禍でのイベントを実施するためには、運営面において主催者側はもとより、参加する私たちが感染防止に対する意識を常に持ち、そのために従来よりもひと手間、二手間かける覚悟が必要だと実感しました。

さて、大会結果は、早朝野球ではC-MAXと鶴来パワーズが、日曜野球ではピースアライアンスとカイザーがそれぞれ決勝に勝ち進みました。

【大会結果】

○ 県早朝野球	準決勝	C-MAX	6-0	野々市スパローズ
		鶴来パワーズ	2-1	ノトアロイ
○ 金沢日曜野球	準決勝	ピースアライアンス	7-0	サタデーナイト
		カイザー	11-0	ラックドルフィンズ



【C-MAX対野々市スパローズ】



【鶴来パワーズ対ノトアロイ】



【ピースアライアンス対サタデーナイト】



【カイザー対ラックドルフィン】

○健民オリエンテーリング大会

10月11日（日）、津幡町の県森林公園において健民オリエンテーリング大会が開催され、60人の競技参加者はおよそ60～90分間、森林公園内で自分のペースに合わせて爽やかな汗を流しました。本大会は、県オリエンテーリング協会が主管し、特に加盟団体の津幡町オリエンテーリング協会の皆さんが中心となって、会場の準備から運営など

を担って行われました。今年は感染防止対策の一環で人数制限をする一方で、参加者の大幅な減少も心配されましたが、個人だけでなく金沢大学のオリエンテーリングクラブの学生たちも大勢参加して、大会を盛り上げてくれました。初心者に対してはスタート前に協会役員が競技方法についての丁寧な説明を行うなど、オリエンテーリングの普及拡大への意気込みが感じられました。



【受付では非接触型体温計で検温】



【初心者への説明の様子】



【スタート直後の様子】



【参加者の相談相手は地図とコンパス】



【入賞者の皆さんです】

【大会結果（各部門優勝者）】

- | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| ○ 男子A
谷川 友太（金沢市） | ○ 男子B
林 武彦（金沢市） | |
| ○ 女子A
山森 汐莉（金沢市） | ○ 女子B
植木 典子（金沢市） | |
| ○ 初心者
圓井 絢悟（金沢市） | ○ 家族組
圓井 彰悟（金沢市） | ○ 一般組
平松 夕衣（白山市） |

○おはようサイクリング石川健民大会

10月11日（日）、金沢市の大豆田大橋上流広場を発着地点におはようサイクリング石川健民大会が開催され、118人が金沢港クルーズターミナル経由で五郎島町の芋畑を目指しました。今年は新型コロナウイルスの感染防止対策で野外での受付にもアクリル板を用意し、参加者だけでなくスタッフの受付も別途用意されていました。

休憩及び昼食場所のクルーズターミナルでは、主管団体である県おはようサイクリング石川県協議会の母体である県自転車軽自動車事業協同組合の方々が、参加者の自転車の点検や調整等をされていました。

五郎島町の芋畑に到着すると、参加者は老若男女を問わず黙々と芋を掘り出し、大きく育った芋を手にした時には満面の笑みで芋掘りを楽しんでいました。



【受付の様子】



【開会式の様子（南理事長の挨拶）】



【スタッフが走行をリードします】



【赤土大橋の手前で一般道に入ります】



【クルーズターミナルに続々と到着です】



【スタッフが参加者の愛車点検中】



【スタッフが横断歩道を誘導】



【芋畑に到着、いよいよ芋掘りです！】

○健民歩こう大会（健民祭ウォーク）

10月18日（日）、金沢市のいしかわ四高記念公園（旧中央公園）には石川県歩こう会連絡協議会のメンバーを中心に107人が参加し、「いしかわ文化の日」に合わせて健民歩こう大会（いしかわ文化の日ウォーク）が開催されました。今回は新型コロナウイルス感染防止対策として美術コースと歴史コースを設け、各コースの参加者を二手に分けて4つのグループで実施しました。美術コースでは、県立美術館と県立伝統産業工芸館に入館し、歴史コースでは鼠多門を經由していしかわ赤レンガミュージアム（県立歴史博物館と加賀本多博物館の総称）と金沢くらしの博物館に入館し、参加者はふるさと石川の歴史や文化に親しみました。当日は秋晴れで絶好のウォーキング日和となり、四高記念公園周辺には多くの人出が見られました。



【開会式での会長の挨拶】



【検温は受付から離れた場所で実施】

【いしかわ文化の日】

平成27年4月1日に施行した「いしかわ文化振興条例」により、県民の文化施設を利用や文化活動への参加を推進するために、芸術の秋である10月の家庭の日（第3日曜日）を「いしかわ文化の日」と決めました。今年度の「いしかわ文化の日」は110の文化施設で県民入場無料となりました。



【県立美術館前】



【鼠多門】



【県立伝統産業工芸館前】



【県立歴史博物館前】



【街路樹の奥は国立工芸館】



【本多公園の美しい生垣】

今年の健民祭ウォークは、いしかわ文化の日に実施することにより、四高記念公園周辺の文化施設に入館し、館内の見学を通して、参加者はふるさと石川の伝統文化や歴史に触れることができました。ふるさと再発見も取り入れた今回の企画は、歩こう会関係者にもたいへん好評でした。

○第47回太陽と緑に親しむ健民祭のまとめ

今年の健民祭は、9月21日の健民トリムマラソンに始まり、10月18日の健民歩こう大会で終了しました。今回はコロナ禍での開催となり、団体の中には県内の新型コロナウイルスの感染状況や参加者が重症化リスクの高い高齢者であること等に配慮して大会中止という苦渋の決断をされた団体もありました。また、実施する団体においても、必要なコロナ対策を講じた上で、例年より規模を縮小して開催するという、これまでに経験したことのない対応を準備の段階から開催当日まで余儀なくされました。

今後の新型コロナウイルスの感染については予測が難しいですが、今年の実施の有無にかかわらず来年度の健民祭に向けて各団体で協力し合って健康づくりを推進していくことが、健民運動の本来の目的であり、この運動の強みになるのではないのでしょうか。

期 日	大 会 名	参加者	会 場
9月21日	健民トリムマラソン	78	西部緑地公園 陸上競技場
9月22日	健民祭開会式	280	西部緑地公園 補助競技場
	健民グラウンド・ゴルフ大会	280	同 上
	健民マレットゴルフ大会	76	専光寺ふれあいの森ゴルフ広場
10月4日	健民野球大会	162	石川県立野球場
10月11日	おはようサイクリング石川健民大会	118	大豆田大橋上流広場発着
	健民オリエンテーリング大会	70	石川県森林公園
10月18日	健民歩こう大会(健民祭ウォーク)	107	いしかわ四高記念公園発着
参加者合計		1,171人	

◇ 11月・12月の健民運動カレンダー

R2.10.20現在

11/21(土)	子どもの夢実現サポート事業(夢の実現地域発表会) 会場:金沢市立浅野町児童館(金沢市) 主催:おいしいよ農園実行委員会 共催:石川県健民運動推進本部
11/11(水) ~25(火)	ふるさとづくり作品展 (川柳コンクール、花いっぱいコンクール) 会場:県庁行政庁舎 19階展望ロビー 主催:石川県健民運動推進本部
11/15(日)	ふるさとづくり表彰式・花いっばいのつどい 会場:県庁行政庁舎 19階展望ロビー(金沢市) 主催:石川県健民運動推進本部
11/19(木)	令和2年度青少年ボランティア賞表彰式 会場:県庁行政庁舎 特別会議室(金沢市) 主催:石川県健民運動推進本部
12/5(土)	子どもの夢実現サポート事業(夢の実現地域発表会) 会場:舟見ヶ丘保幼稚園(小松市) 主催:舟見ヶ丘保幼稚園たいよう組 共催:石川県健民運動推進本部
12/24(木) ~ 1/11(月・祝)	健民運動青少年ボランティア賞受賞団体・者の実践展示 会場:県庁行政庁舎 19階展望ロビー(金沢市) 主催:石川県健民運動推進本部

◇ 令和2年度少年の主張石川県大会

8月30日(日)に石川県青少年総合研修センターで「少年の主張石川県大会」が開催されました。この大会は、昭和54年の「国際児童年」を契機に開催してから今年で42回目となります。

日常生活の中での体験や考えを自分自身の言葉でまとめ、それを広く発表する機会を中学生に提供して、中学生世代における社会参加意識の醸成を図り、また、多くの大人に現代の中学生への理解を深めてもらう大会となっています。

加賀・金沢・石川中央の3地区大会で選ばれた12人の中学生が、自分の考えを力強く堂々と訴えかけました。審査の結果、最優秀賞には、金沢大学附属中学校3年、緒方杏菜さんの「本当の日本文化を伝えるために」、優秀賞には、石川県立金沢錦丘中学校3年、田原涼夏さんの「言葉」とかほく市立高松中学校3年、岩田紗悠梨さんの『『ありがとう』を世界へ』が選ばれました。次頁に最優秀賞に選ばれた緒方杏菜さんの原稿を紹介させていただきます。



【正木明大会委員長挨拶】



【出場者と審査委員、大会役員の皆さん】

★最優秀賞



「本当の日本文化を伝えるために」 金沢大学附属中学校3年 緒方 杏菜さん

私のいとは、フランスと日本のハーフです。日本語を流暢に話すことができますが、日本で暮らしたことはありません。「母の祖国についてもっと詳しくなりたい。」という彼女の希望から一ヶ月間日本で一

緒に過ごす機会がありました。いろいろなところに出かけ、たくさんの経験をしました。私は一人っ子なため、お姉ちゃんができたようでとても嬉しかったです。空港で彼女と別れる直前までは。

私は名残惜しくてこんな冗談を言いました。「ねえねえ、日本で働いたらどう。みなみちゃん日本語話せるじゃん。」

すると彼女はいつになく真剣な顔でこう言いました。

「いい考えだね。だけど、お辞儀をしたくないから日本では働けないよ。意味もなく頭を下げるなんて私は嫌だよ。」

衝撃的でした。「意味もなく？ お辞儀が？」私は、自分自身の耳を疑い彼女の顔をじっと見ました。彼女は本気でした。

その日から、彼女の言葉が頭から離れませんでした。私たちは本当に意味も無く頭を下げているのでしょうか…

考え抜いた末、彼女は日本語を話すことができるにもかかわらず、日本文化の本質を理解していなかったのではという思いに至りました。だから「意味もなく頭を下げるお辞儀」と言ったのかもしれませんが。すれ違いざまの会釈、電話越しの見えない相手へのお辞儀、卒業式での恩師への最敬礼。これらには、親しみや敬意などの意味が込められています。私たちは、無意識のうちにそれらを感じたり、身近な大人に教えてもらってきました。しかし、日本文化に詳しくない人にとって自分自身で気づき、理解するという事は困難でしょう。だからこそ、私たちは日本文化の本質、奥深いところ、それに加えて私たちが当たり前と感じていることをより一層発信する必要があると思います。

今の私にできることはなんだろう。その答えをみつけるため身近な人に相談したり、ネットを中心に様々な情報を探してみました。そして、今三つのことに取り組んでいます。

一つ目は、他の言語を話せるようになること。日本文化に興味がある人の全員が日本語を話すことができるとは限りません。

そこで、私は英語とスペイン語の学習に力を入れています。語学の勉強は大変で投げ出したくなることも多々ありますが、そんな時は「日本文化の奥深さを世界中の人に知ってもらいたい。」とゴールを思い出しモチベーションを上げています。努力を重ね今年の三月に英検一級に合格しました。

二つ目は、自分自身が金沢、石川について学校での取り組みを通して詳しくなること。私の通う金沢大学附属中学校では、石川の伝統文化について調べています。八月には、調べた内容、そして石川県をより良くするための提言を発表しました。この活動を通して、地元石川の文化について自信を持って説明ができるようになりました。

三つ目は、実際に日本文化を発信すること。私の家族はこれまでに何名かホームステイの学生を受け入れてきました。今年は石川県が主催するオンラインランゲージテーブルに参加しました。これは、日本語を学んでいる大学生とオンラインで交流するというプログラムです。中学生の私にホストとして活動するというチャンスをごくださったことにとても感謝しています。その責任の重みを実感し、日本文化の本質を正しく積極的に伝えることを心がけました。

この三つの活動は、今後ももちろん続けていきます。世界中の人に私の大好きな金沢、石川、そして日本の文化の奥深さ、本質を正しく理解してもらうために。そして次にいここに会ったとき、「意味も無く頭を下げるお辞儀」なんて言わせません。

発表終了後、大久保邦彦審査委員長（石川県市町教育委員会連合会副会長）から、審査結果が発表され、正木明大会委員長から最優秀賞、優秀賞、奨励賞の賞状と副賞が授与されました。引き続き、嶋耕二審査委員（石川県教育委員会学校指導課担当課長）から講評をいただき、最後に青木美紀大会副委員長（健民運動推進本部事務局長）の挨拶で閉会しました。



【成績発表（大久保審査委員長）】



【講評（嶋審査委員）】

★審査委員講評 嶋 耕二（学校指導課担当課長）

はじめに、新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な取組が行われる中、少年の主張石川県大会が開催されることをうれしく思っております。

十二名の皆さん、どの発表も、大変素晴らしいもので、中学生らしく、さわやかな語り口調の中に、個性が表れ、思いが明確に、しかも豊かに表現され、興味を持って聞かせていただきました。ありがとうございます。

さて、今年度、小学校では、新しい学習指導要領による学習が全面的に実施されました。中学校は、来年度から全面的に実施されます。この学習指導要領とは、国が、学校における学習について、どんな内容を、どの学年で、どの程度、そして、どのようにして学習するかについて基準を示したものです。

新しい学習指導要領は、皆さんが社会に出て活躍する10年先の未来を想定して、その未来に必要な資質・能力を学校で身に付けることができるように定められています。皆さんの授業でも、自分の考えを持ち、友達と対話しながら学習内容を深めるような学びを経験しているのではないのでしょうか。

ところで、10年先の世界はどのような世界でしょうか。近年の社会の変化が人間の予想を超えて進展しているので、簡単に予想がつかないかもしれません。

新しい学習指導要領では、未来に生きる皆さんが、

- ・自分のよさや可能性を認識すること
- ・あらゆる他者を価値ある存在として尊重すること
- ・多様な人々と協働すること

などを学校における学びで身につけ、様々な社会の変化を乗り越えられるようになることを目指しています。

今回の「少年の主張石川県大会」における皆さんの主張には、

- ・自分の気持ちや日本の文化を言葉を使って伝えることの大切さ
- ・自分の長所を見付け、自分を大切にすることの大切さ
- ・違いを受け入れ、相手を尊重することの大切さ
- ・前向きに過ごすことや感謝して学ぶことの大切さ

などがありました。これらの主張は、新しい学習指導要領に示されている未来に生きる皆さんに求められることと一致しており、驚いております。

今年は、長期にわたる臨時休校がありました。休校中、皆さんは、家庭などで、自分自身のことや世界の状況を見つめ、将来の世界で生きるための大切な考えと、行動する目標を持つことができたのではないのでしょうか。

そして、この主張が、皆さんの心を豊かにし、未来のよりよい世界を築くための「気づき」となることを、そして、皆さんが、更に高い志を持って、それぞれの夢や希望の実現に向けて歩まれることを期待しております。

最後になりましたが、発表された皆さん、御支援いただいた先生方や御家族のみなさん、さらには、この大会の開催に御尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

★県大会に出場された皆さん

令和2年度少年の主張石川県大会審査結果（優秀賞、奨励賞の並び順は、発表順）

賞	中学校名	学年	氏名	タイトル
最優秀賞	金沢大学附属中学校	3	緒方 杏菜	本当の日本文化を伝えるために
優秀賞	石川県立金沢錦丘中学校	3	田原 涼夏	言葉
優秀賞	かほく市立高松中学校	3	岩田 紗悠梨	「ありがとう」を世界へ
奨励賞	野々市市立野々市中学校	3	石田 はるな	私たちの使命
奨励賞	加賀市立山中中学校	3	奥村 奏太	僕の心の整え方
奨励賞	加賀市立錦城中学校	3	深田 紗弥歌	私たちに必要な力とは
奨励賞	かほく市立宇ノ気中学校	3	數馬 すずか	変わることができたなら
奨励賞	小松市立安宅中学校	3	山川 慎司	差別について
奨励賞	加賀市立片山津中学校	3	本岡 怜那	自分とうまく付き合う
奨励賞	金沢市立兼六中学校	3	吉田 玲花	「思いやりのキャッチボール」を、皆と
奨励賞	金沢市立野田中学校	3	北村 忠彰左京	リスペクトマイセルフ
奨励賞	津幡町立津幡中学校	3	坂本 篤紀	人の笑顔は幸を呼ぶ

11月は「子供・若者育成支援強調月間」です
～輝く未来 育て支えて 見守って～

子供・若者は、親等の家族にとっても、社会にとっても、大きな可能性を秘めたかけがえのない存在であり、全ての子供・若者が、自己肯定感を育み、自己を確立し、社会との関わりを自覚し、自立した個人として健やかに成長するとともに、明るい未来を切り拓いていくことが期待されている。

政府において、平成28年2月に「子供・若者育成支援推進大綱」を策定し、その中で、子供・若者の育成支援を、家庭を中心として、行政、学校、企業、地域等、社会全体で取り組むべき課題と位置付け、全ての子供・若者が健やかに成長し、全ての若者が自立・活躍できる社会の実現を目指すこととしている。

しかしながら、子供・若者に関しては、依然、支援を必要とするニート、ひきこもり、不登校などの社会生活を円滑に営む上で困難を有する子供・若者の問題や、少年非行、いじめの問題、児童虐待、児童ポルノや児童買春を始め子供が被害者となる事件など社会全体で取り組まなければならない問題がある。

また、現在新型コロナウイルス感染症対策に伴う社会経済活動の様々な制約から、子供・若者を取り巻く環境に閉塞感や孤立感が生じ、子供・若者の健やかな成長に様々な影響を与えている。これらの多様で複合的な問題の解決には、行政、子供・若者の育成支援に関わる諸団体等が専門の垣根を越えて連携協力するとともに、地域住民一人一人の取組・参加を促すことにより、子供・若者を孤立させず、地域全体で支えていく社会を築くことが重要である。

（内閣府 令和2年度「子供・若者育成支援強調月間」実施要項 R2.10.23）

◇ 健民運動活動紹介

第11回美しい石川を歩く

～杜と水と歴史のまち金沢 まちなか巡り～

10月5日（月）、午後1時、ウォーキングにはほどよい天候の下、金沢市民芸術村には参加者27名が集合しました。これまでの「美しい石川を歩く」では長距離のコースが多く、初めての参加者の中には少し辛かったと感じた人もいたようですが、今回は長町緑地から金沢市足軽資料館までの区間に、金沢市の観光ボランティアガイド「まいどさん」の解説を聴きながらの散策を入れました。参加者からは、

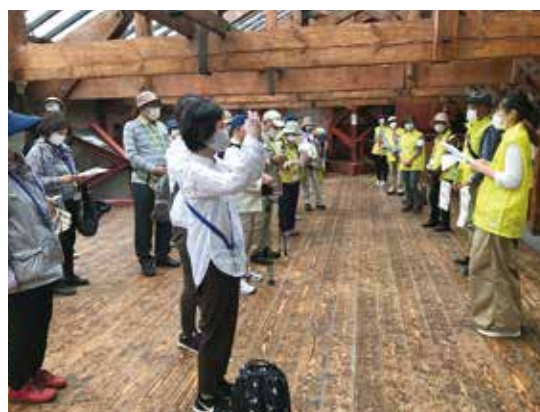
- ・ 会話しながらのウォーキングは一人で歩いているよりも楽しかった
- ・ まいどさんの説明を聞くこともでき、運動もできて学べるイベントだった
- ・ 金沢に住んでいながら初めて知った場所があり、勉強になった

などの感想を頂戴しました。

今回のような5km程度の距離に途中、見学やガイドの解説を交えながらのウォーキングも初心者の方にはちょうど良かったのではないのでしょうか。



【金沢市民芸術村での受付】



【開会式の様子】



【旧加賀藩士高田家跡】



【金沢市足軽資料館】

～ひとひらの折り紙から～

一枚の友禅紙、和紙、小間紙、千代紙等が子供達のちっちゃな指先に、おばあちゃんの大きな手のひらから折られ、折り畳まれ出来上がってくるひとひらの折り紙、なつかしい伝承作品に一人ひとりの心が繋がりが癒されてゆく。びっくりする新作の折り紙に大きな夢が育まれてゆく。折り紙の一折で時空を越えた限り無い心の世界が生まれて来ます。そんな思いを子供達の折り紙、“名刺入れづくり”に託してみました。

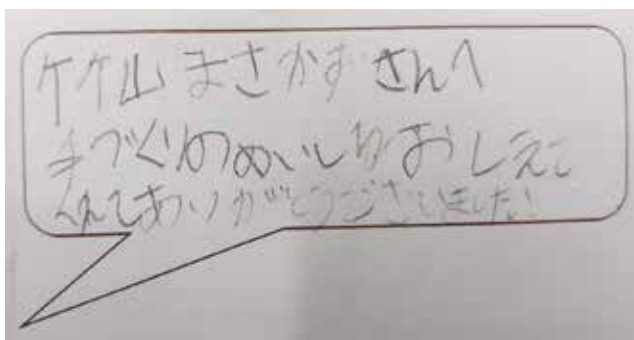
“金沢大学附属特別支援学校”の生徒さんたちによる作品作りとして、一折一折丁寧に金沢ゆかりの大正ロマン竹久夢二デザイン千代紙で楽しんでいただきました。

今回の千代紙による“名刺入れ”との出逢いは、心にしまっていた大切な幼い頃の思い出が埋み火の炎となって大きく燃え上がり、素晴らしい手作りの“名刺入れ”が出来上がりました。一人一人の思い出をこの名刺入れに挟み、多くの友達とのコミュニケーションを図っていただきたいと願っています。

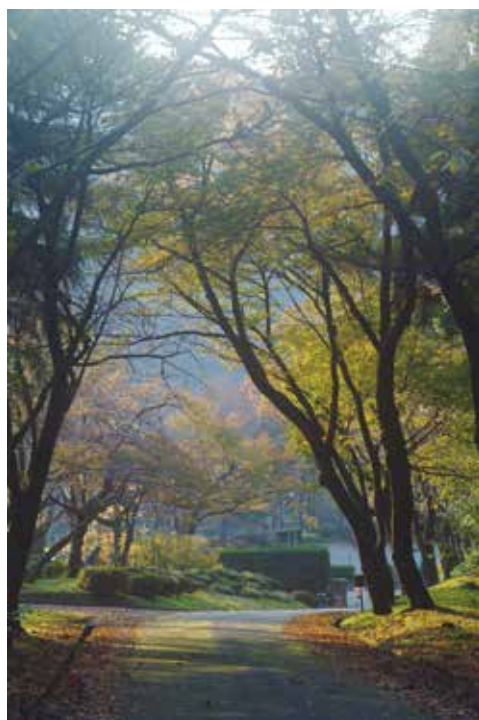
今は新型コロナウイルスの感染の心配がありますが、一日も早く終焉に向い、平和で楽しい社会の訪れますことをこの折り紙に託しております。



【千代紙による“名刺入れ”です】



【参加した生徒さんからのメッセージです】



『あいむ』だより



収集物（10月分）＜使用済み切手など＞

犀川河川愛護会、石川県（医療対策課、監理課、河川課、砂防課、七尾特別支援学校）
匿名の方 計7件

ご協力ありがとうございました！

ご提供いただきました使用済み切手、書き損じハガキにつきましては、切手収集家等に換金してもらい、日本キリスト教海外医療協力会などを通じ、海外の医療従事者への学資援助や国内の盲老人の福祉などに役立てていただいております。ぜひお寄せください。

企業の皆さん、NPO・ボランティア団体に備品を提供しませんか？

企業×NPO物品マッチングシステム これD.O?



NPOが求める備品について企業の皆さんから提供を受け、「あいむ」がその仲介を行うことにより、NPOの公益活動と企業の皆さんの社会貢献活動を支援します！

詳しくはこちら→ <http://www.ishikawa-npo.jp/koredo/>

あいむホームページに掲載します

あいむホームページの「イベント情報」では、NPO・ボランティア関係団体のみなさんからいただいたチラシを掲載しております！

イベント開催やボランティア募集など皆さんからの「チラシ・パンフレット」をお待ちしております！

<http://www.ishikawa-npo.jp/event/index.html>

石川県NPO活動支援センター（あいむ）

〒920-0961 金沢市香林坊 2 丁目 4 番 30 号 香林坊ラモーダ7階
TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559

<http://www.ishikawa-npo.jp>

会議・打合せ等に「あいむ」をご利用ください！（会議室使用料無料）

- ・お問合せ、ご予約は上記「石川県 NPO 活動支援センター（あいむ）」まで
- 《9:00～22:00（土、日曜日は17:00まで、月曜日・祝日は休館）》
- ・香林坊地下駐車場をご利用ください。駐車料金を助成しています。



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～



毎月7日は「健康の日」です。
～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～



発行：石川県健民運動推進本部

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
石川県県民交流課内 健民運動推進本部

TEL 076-225-1366
FAX 076-225-1363

インターネット

E-mail



健民運動

kenmin-i @pref.ishikawa.lg.j

kenmin_undou

Facebook @kenminundou



QR コード